

## 経済建設委員会視察研修報告

平成26年2月4日～6日

農業産業振興・害獣駆除について

島根県邑智郡美郷町・川本町

## 村は自分たちで守る！の精神で

まず美郷町農政課職員の内、材料を持ち寄り自費で建設された、青空サロン市場を視察。有害鳥獣対策に地域ぐるみで取り組み農作物の被害が減少。その野菜、おにぎり、漬物などを販売。人口約5000人のこの町は、猿・鹿・猪から、自分たちの村は自分たちで守るの精神で団結して、補助を受けずに駆除対策を実行しておられた。ここは駆除の方法を全国の方々に、指導しているとのこと

だった。有害鳥獣を、里に近よらせない農の環境づくりを主眼とし、扱いやすい箱罠に転換。

イノシシの加工場は、年間500頭の捕獲されたイノシシの肉を『おおち山くじら』の商品名で関東方面へ販売。さらにイノシシの皮を利用し

て、婦人会で財布やペンケース等の小物皮細工を作り、地産池消で販売。つまり地域で捕獲駆除したものを、利用する循環ができていた。

補助金を受けず行う害獣対策が地域の活性化につながっていることを本村でも参考にしたいものである。また町職員も婦人会とともに町の活性化のため頑張っておられ、わが村にもこのような人材がほしいと思った。



皮製品を作成中

次に有害鳥獣の被害を受けず耕作放棄地解消にも役立ち健康に良いとされる川本町のエゴマを視察。栽培・加工・販売まで行っているオーサンファームで説明を受けた。エ

ゴマは、しそ科の作物で油を摂ることと葉っぱを食べることとでEPAやDHAになり血栓を防ぎ動脈硬化を予防する効果がある。当初30aで始め、現在8haを有機無農薬で栽培。会長の島田氏は雇用の確保や、町の特産品として栽培することで、町の活性化を図り元気にしたいと語っておられた。



販売中のエゴマ製品

健康維持のため栽培し、軌道に乗り面積が増えれば、耕作放棄地の解消や6次産業化につながる可能性も期待される。村の施設の跡地利用もできるのではないかと。両町とも山間の過疎の町であったが、住民が様々な問題をクリアし、地域を元気にしていた。非常に有意義な研修であった。

## 地域・自然との共生に向けて 地熱発電！

### 南阿蘇村阿蘇山西部地域地熱資源活用協議会先進地研修報告

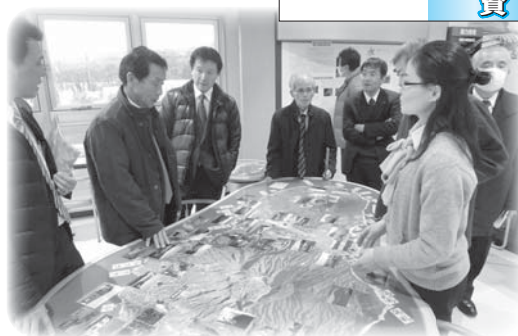
- ・北海道上川町 2月13日～14日
- ・東京都八丈島 2月20日～21日
- ・大分県八丁原 3月5日

先の東日本大震災における福島原発事故以来、全国的に再生可能エネルギーの導入が盛んに進められている。本村の湯の谷・吉岡地区の地熱にも高い関心が向けられている。そんな中、地熱活用を検討する協議会が1月29日設立された。

本村にどのようなメリット・デメリットをもたらすのか、先進地の視察をした。環境への影響・温泉資源との共生・地域経済の活性化・産業振興を主眼に調査した結果、地域観光による経済への波及・産業振興は、多面的な角度で方向性を探れば、間違いなく村の振興活性化につながることを感じた。



地熱発電所内視察（八丈島）



ジオラマの説明を受ける（八丈島）